



## 8/7 南部中生徒会が義援金を寄付



▲富田福祉課長（左端）に義援金を手渡す生徒会の生徒たち

令和2年7月豪雨の被災地支援のため、南部中学校生徒会が企画・周知し、募金とアルミ缶収集で集めた義援金18,128円を富田福祉課長に手渡しました。生徒会長の上原蒼さん（3年）は「大変な思いをされている方に自分たちが力になれることは何かと思い、募金活動をしました」と話しました。

受け取った義援金は、日本赤十字社静岡県支部を通じて被災者へ配分されます。

## 8/7 夏休みに図書館のお仕事体験



▲真剣な表情で本にカバーフィルムを貼る作業をする参加者

中央図書館で夏休み子ども図書館クラブが開催され、市内の小学4～6年生20人が参加しました。参加した子どもたちは、通常は入ることができない書庫の見学や、本の貸出・返却などの貴重な体験をしました。

子どもたちは「バーコードリーダーの角度や距離を合わせるのが難しかった」「いろいろな人のおかげで本を借りられることが分かった」と話しました。

## 8/3 園児たちの安心・安全のために



▲保健師が防護服を着用し、消毒方法を実演しました

認可外保育園も含めた市内全77園を対象に、新型コロナウイルスに関する正しい知識を共有するための研修会がiプラザで実施されました。

2日間、計4回の研修会には、園長などが分かれて参加し、市のガイドラインを参考に、感染が疑われる場合の園での対応を確認しました。また保健師から、感染拡大防止のための正しい消毒液の作り方や消毒方法、防護服の着脱方法などを学びました。

## 8/4 全国大会出場の磐南生へエール



▲ビジュアル部、地学部、科学技術部の生徒が抱負を語りました

県大会や予選大会で優秀な成績を残し、全国大会に出場する磐田南高等学校のビジュアル部、地学部、科学技術部が市長と教育長を表敬訪問しました。

県高校写真コンクールで優秀賞を受賞した、ビジュアル部2年の窪野楓花さんが「今年はWEB審査でしたが、この経験を今後に生かしていきたいです」と話すと、市長は「将来の夢や希望が叶えられるように頑張ってください」とエールを送りました。



## 8/19 目標は優勝！応援をお願いします



▲意気込みを語った本田監督（右から3人目）

「2020プレナスチャレンジリーグEAST」に参戦する静岡SSUアスレジーナの監督と選手、スタッフが開幕を前に市長を訪ね、応援を呼び掛けました。

元日本代表で今季から監督に就任した本田美登里氏は「女子サッカーは来期からプロリーグも始まります。アスレジーナが地域の子女子スポーツのシンボルの存在になれるよう、良い結果を出していきたい」と意気込みを語りました。

## 8/8 「いわた応援チケット」発売



▲1次販売の初日に交流センターへ引き換えに訪れた家族

新型コロナウイルスにより疲弊している地域経済の活性化を目的としたプレミアム商品券「いわた応援チケット」が発売され、1次販売では市民が引換券を手内に市内交流センターや郵便局を訪れました。

その後の2次販売では、商品券を求めて多くの方が販売所の郵便局やセブン-イレブンに集まり、約9万セットが4日間で完売しました。商品券の使用期限は12月31日(木)です。

## 8/25 第1回コンプライアンス委員会開催



▲就任のあいさつをする日詰委員長

平成31年2月に発生した公契約関係競売入札妨害事件を受け、職員の服務規律の確保や不祥事を発生させない組織づくりを推進するため、第1回磐田市コンプライアンス委員会が市役所で開催されました。

委員会は学識経験者や市民の代表者ら5人で構成され、委員長には静岡大学の日詰一幸教授が選任されました。任期は2年で、市が実施する再発防止対策の進捗状況の確認や対策への意見、助言を行います。

## 8/15 平和への想いを未来へつなぐ



▲式典で献花する市内中学校代表の生徒たち

戦没者・戦災死者を追悼し、平和を希求する想いを次世代に継承していくため、磐田市平和祈念式が竜洋なぎの木会館で開催されました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典内容と参加者数を縮小し実施しました。

式典では竜洋中学校3年の鈴木俊翔さんが「戦争という悲劇を繰り返さないことが私たちの使命。みんなで協力して平和へとつなげたい」と話しました。